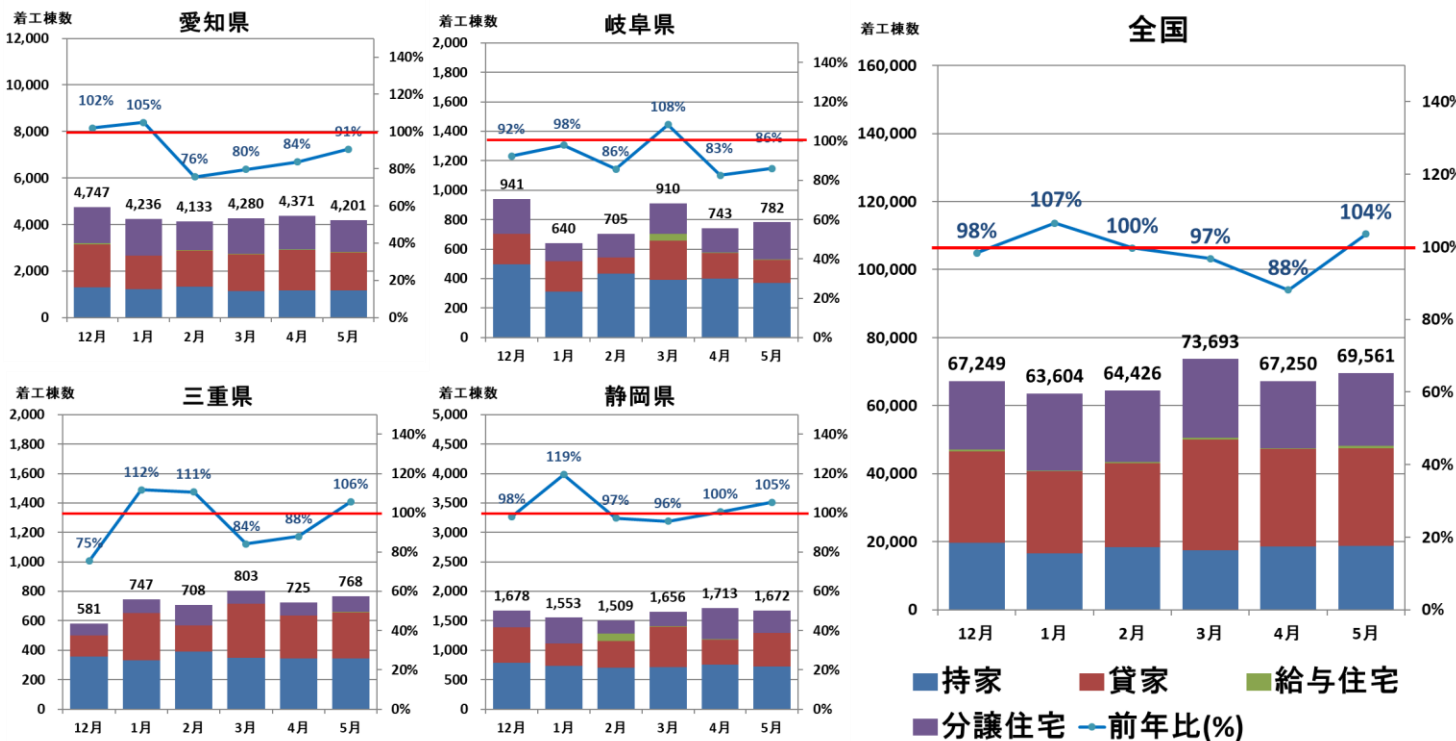


東海4県の着工推移

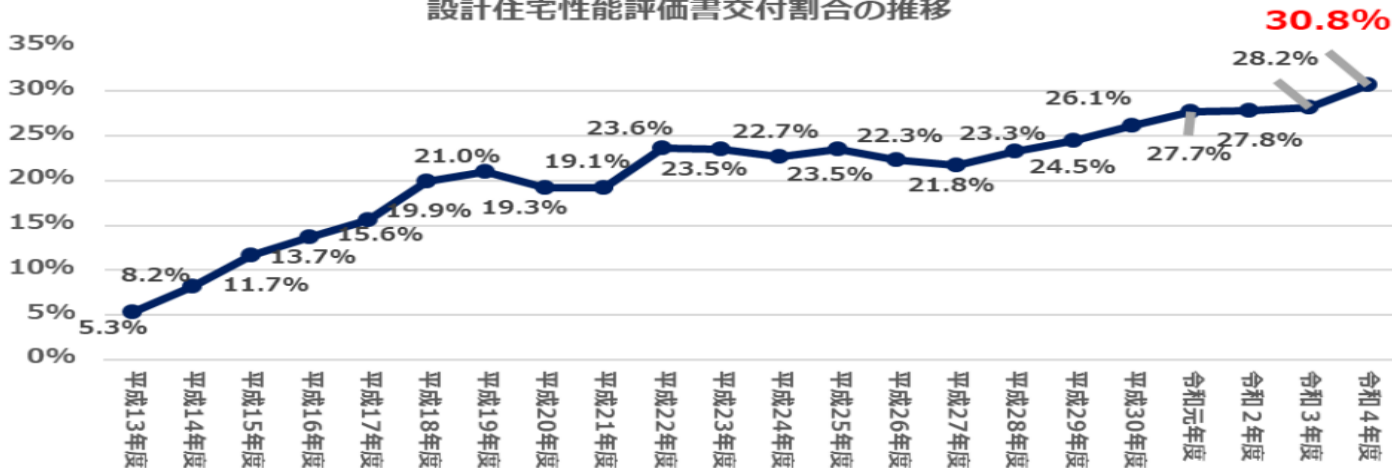
出典：着工データ 国土交通省



性能評価書の交付7年連続増加

国土交通省は、2022年度の住宅性能表示制度の実績によると、新設住宅着工戸数(86万828戸)に対する設計住宅性能評価書の交付割合は30.8%で、7年連続で増加したと発表しました。

設計住宅性能評価書交付割合の推移



新築戸建ての長期優良認定割合27.7%

国土交通省は2021年度の長期優良住宅の全国の認定状況を公表しました。**新築戸建ての認定実績は11万9289戸**で前年度より1万7786戸増加し、新設住宅着工戸数に占める割合は微増傾向にあるものの、前年度比2.2ポイント増の27.7%に止まり、3割には届いていません。

認定実績【新築】

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	累計※ ¹
認定実績 (新設住宅着工 戸数に対する 割合)	一戸建ての住宅	107,389戸 (24.9%)	100,503戸 (25.5%)	118,289戸 (27.7%)	1,330,333戸
	共同住宅等	1,047戸 (0.2%)	889戸 (0.2%)	3,213戸 (0.7%)	25,986戸
	総戸数	108,436戸 (12.3%)	101,392戸 (12.5%)	121,502戸 (14.0%)	1,356,319戸

※1 累計：平成21年6月～令和4年3月

認定実績【増築・改築】

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	累計※ ²
認定実績	一戸建ての住宅	242戸	236戸	233戸	1,404戸
	共同住宅等	0戸	2戸	2戸	49戸
	総戸数	242戸	238戸	235戸	1,453戸

※2 累計：平成28年4月～令和4年3月

新築の共同住宅等の認定実績は3213戸。また、増築・改築の認定実績は戸建が233戸、共同住宅等が2戸。これまでの認定の累計は、新築の戸建てが133万333戸、共同住宅等が2万5986戸。増築・改築は戸建てが1404戸、共同住宅等が49戸となっています。

2021年度の認定を都道府県別で見ると、新築戸建ての認定は**愛知県が最も多く1万4737戸**。次いで東京都7398戸、神奈川県6845戸、静岡県6820戸、埼玉県6674戸、千葉県6329戸。新築の共同住宅等は東京都2667戸、北海道88戸、大阪府79戸の順となりました。

※詳細は、長期優良住宅関連情報ホームページ

【http://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/jutakukentiku_house_tk4_000006.html】でご確認ください。